

流行はここから生まれる!

5大ヒットの素

2010年のイベントからトレンドを予感させるキーワードを厳選! オリピック、ワールドカップからホッピー誕生100周年まで、本誌が選んだ5つのヒットの素をベースに、来年流行る商品やサービスを大予測する!



坂本龍馬記念館所有

坂本龍馬人気で国内旅行ブームが激化!?

ヒットの素 1

坂本龍馬

来年のNHK大河ドラマの題材となる坂本龍馬は、幕末を生き、薩長同盟の締結や大政奉還などを次々と実現。司馬遼太郎の「竜馬がゆく」など彼を描いた作品も多く、歴史上の偉人の中でも、絶大な人気を誇る。

ツアーも登場! 日本列島「龍馬フィーバー」

今年11月、北海道函館市に坂本龍馬記念館オープン

龍馬生誕の地では県をあげてイベントを開催



©NHK

↑2010年のNHK大河ドラマ「龍馬伝」は、1月3日より放送開始。主演の福山雅治は、龍馬ゆかりの地である長崎県出身。九州の龍馬フィーバーに拍車がかかる。

来年のNHK大河ドラマは、坂本龍馬の33年間の生涯を描く「龍馬伝」。男女問わず、幅広い人気を得ている福山雅治が主役を演じることで話題を呼んでいる。その流れを受け、龍馬が生まれた高知市や、進学先である長崎市では、龍馬の足跡をたどるツアーが人気だ。「ゆかりの地を巡るガイドツアーは、すでに昨年に比べ10倍の集客を記録しています」(長崎市さるく観光課)

また、近畿日本ツーリストも龍馬人気に注目し、ツアーを実施。「来年の国内ツアーのメインは「龍馬伝」の舞台となる四国・長崎・霧島・京都。年明けに向けてツアー内容をさらに充実させます」(広報課長・立花泰明氏)

龍馬の生き方に共鳴する龍馬ファンに、「福山龍馬」の人氣が重なれば、ゆかりの地を巡る人が増えるのは必至。幕末の風雲児は、国内旅行ブームを巻き起こしそうだ。

龍馬が生まれた高知県では、2010年1月16日より「土佐・龍馬であい博」を開催。JR高知駅前にはパビリオンを設置。県西部の龍馬の衣装を着たガイドとゆかりの地を巡る町歩きも楽しめる。

高知・長崎・京都と、ゆかりの3都市でツアー実施

近畿日本ツーリスト「メイト 龍馬の道」ツアーは、高知・長崎・京都の各都市で開催。高知では龍馬像が立つ桂浜や記念館を巡る。東京～高知は2泊3日5万4800円～。

ゆかりの地から龍馬グッズが続々登場

→香枝の華「龍馬伝」長崎希望篇(麦焼酎)1400円。大河ドラマにちなみ発売。ほか、高知(芋焼酎)、京都(米焼酎)もある。



→イチセ「龍馬が愛したお米」実勢価格約2000円。山口県産のコシヒカリ。薩長同盟に「長州(山口県)の米」が使われたことが由来。



↑歴史倶楽部「坂本龍馬万年カレンダー」1575円。「世に生を得るは事を為すにあり」など、龍馬の名言を1～31日まで日ごとに記した。